

施 策 カ ル テ

1 施策の位置付け

担当課 環境政策課

総合計画 政策の柱	市民の快適な暮らしを支えるために	政策名 (基本施策名)	脱温暖化・循環型の環境にやさしい社会を形成する	取組の 基本方向	「脱温暖化・循環型の環境にやさしい社会を形成する」ため、市民の環境を守る意識を高め、行動につなげるための「環境保全行動の推進」、温室効果ガスの排出を抑制するための「地球温暖化対策の推進」、限りある資源の有効活用を図るための「ごみの発生抑制、減量化、資源化の推進(3Rの推進)」、廃棄物処理における環境負荷を最小限に抑えるための「廃棄物の適正処理の推進」、公害などの快適な生活を阻害する要因を未然に取り除くための「良好な生活環境の確保」に重点的に取り組みます。	政策目標 (基本施策目標)	市民、事業者、行政が一体となって脱温暖化・循環型の環境にやさしい社会をつくっています。
--------------	------------------	----------------	-------------------------	-------------	---	------------------	---

2 施策の現状と達成状況、課題の抽出

施策名	地球温暖化対策の推進						達成状況	施策指標(単位)						達成率(%)
	市民1人当たりの温室効果ガス削減割合(排出量)(t)							H19:基準	H20	H21	H22	H23	H24:目標	
施策目標	市民が、地球温暖化の抑制を図るため、温室効果ガスの削減に積極的に取り組んでいます。						「活動指標等」に掲げる目標値に対する実績値は、概ね達成している状況にある。 「地球温暖化対策の推進」は、市民意識調査の「施策重要度」が高いことや、世界レベルにおいても重要視されていることから、必要性は増加している。 普及啓発活動に係る経費を必要最小限になるよう努めており、効率性は高いと考えられる。 市民への「もったいない運動」の定着を図るために市民活動組織を設置していることや、新エネルギー・省エネルギーに対する認知度・理解度を向上させる取組を行っており、政策目標を達成するための有効性は高いと考えられる。	---	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	---
施策を取巻く環境	「宇都宮市地球温暖化対策地域推進計画」に定めた目標達成に向けて地球温暖化対策の推進は、喫緊の課題であり早急な取組が求められている。							---	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	---
市民の施策満足度	19.0%	達成度(単年度目標)	達成している(90%以上)	概ね達成(70%~90%未満)	達成していない(70%未満)	説明		---	(2.70)	(2.70)				2.25
市民の施策重要度	83.9%	必要性(住民・社会ニーズ)	増加している	横ばい	減少している	説明		(2.70)	(2.70)					---
		効率性(事務事業の進捗)	十分である	不十分な事業が一部ある	不十分な事業が複数ある	説明	---	(145.30)	(145.30)				121.10	
		有効性(政策目標への効果)	十分である	やや不十分である	不十分である	説明	(145.30)	(145.30)					---	

3 今後の取組方針

取組の考え方	<ul style="list-style-type: none"> 「宇都宮市地球温暖化対策地域推進計画」に掲げる「地球温暖化対策の推進」に関する目標を達成するため、「低炭素社会の実現」に向けた従来の取組を継続するとともに、啓発に関する施策を更に積極的に取り組む。 一般家庭でなかなか進まないCO₂削減を図るため、現在、設置費補助事業を実施している太陽光発電システム以外の新エネルギー・省エネルギーの機器・設備についても、具体的な導入促進策を講じる。 環境分野と産業・交通分野の連携、バイオマス、緑化促進、住宅関連など、庁内他部署との協力により、総合的な低炭素型の施策を実施できるよう検討する。 「もったいないうつのみや推進事業」については、行政と市民の役割分担を踏まえながら、広がりを持つ事業となるよう、積極的に推進する。 	→	政策評価 会議意見	地球温暖化対策については、市民が重要な施策であると認識している中、新エネルギー・省エネルギーやもったいない運動に関する普及啓発活動を、広報や出前講座を始めとする様々な方法で行うとともに、住宅用太陽光発電システム設置費補助やもったいない絵本の作製配布など、具体的な取組を継続的に実施しているところであるが、市民満足度については低い状況にある。これらのことから、新たな新エネルギー・省エネルギーの普及に向けた補助制度の拡充、環境分野と産業・交通分野の連携、バイオマス、緑化促進、住宅関連などとの総合的な取組など、低炭素型の様々な施策を実施するとともに、もったいない運動における市民会議が中心となった市民運動の展開など、長期的により効果的で実効性のある事業を検討し、本施策を推進していくこと。
--------	--	---	--------------	---

4 施策を構成する事務事業一覧

No.	事業名	対象者	開始年度	活動指標等	H19	H20	H19	H20	優先度	事業の方向性	施策目標を達成するための取組方針
					目標値	目標値	事業費	事業費			
					実績値	実績値	(千円)	(千円)			
1	もったいないうつのみや推進事業	市民	H17	もったいない宣言家庭数(家庭)	2,500	2,500	15,937	52,965	A	継続	意識啓発活動であり、即座に効果が出る事業ではないことから、より実効性の高い事業を長期的に取組んでいく必要があるため、引き続き継続していく。
					1,678	2,405					
					8	9					
					8	9					
2	住宅用太陽光発電システム設置費補助金	市民	H15	補助件数(件)	225	280	33,124	53,983	A	拡大	「宇都宮市地球温暖化対策地域推進計画」に掲げた目標達成のため、本市の地球温暖化対策に有効な手段である太陽光発電システムの設置に対する補助制度を拡充して実施していく。
					212	232					
3	新エネルギー導入の推進	公共施設、公用車、市民・事業者	H13	新エネルギーを導入した市の施設数(累計)	12	12	1,213	828	A	拡大	「宇都宮市地球温暖化対策地域推進計画」に掲げた目標達成のため、新エネルギーを利用した機器・設備の導入可能性について検討を進めるとともに、公共施設への率先導入や市民・事業者への普及促進を図っていく。
					11	11					
4	省エネルギー機器等の導入推進	市民、事業者	H19	省エネ家電普及キャンペーンの協力店舗数	66	64	7,387	6,935	A	拡大	「宇都宮市地球温暖化対策地域推進計画」に掲げた目標達成のため、主要施策である、高効率給湯器などの省エネルギー機器について、普及促進に努めていく。
					66	64					
施策事業費合計					57,661	114,711					